

保健室コンピュータ活用グループ研究会

グループ員：中谷 孝子（緑丘小学校） 篠崎 葉子（瑞穂小学校）
升井 嘉澄（花里小学校） 高吉 有紀子（鈴原小学校）
大西 郁美（池尻小学校） 松田 弥生（鴻池小学校）
田中 淑子（北中学校）

担当指導主事：増田 朋之

キーワード：保健室 表計算ソフトの活用 データ管理 保健指導 健康管理

1 研究テーマ

「保健室におけるコンピュータの活用について」

2 研究内容

これまでに引き続き、コンピュータ(表計算ソフト)を使用して、保健に関する事務処理を行うことにより、保健室の来室児童生徒にゆとりを持って関わる時間の確保及びデータの効率的な活用に取り組んでいる。

今年度も総合教育センター情報化推進員の協力により、日本成長学会データ取り込みシートのバージョンアップを行った。また、学校薬品の注文書シート作成に取り組み、エクセルにおけるマクロの機能について研修を行った。今年度の研究内容は以下のとおりである。

(1) 「成長学会データ取り込み」処理について健診結果管理の肥満・低身長シートの列項目の移動に対応できるよう入力ブックの列項目を増やすなどシステム内容を一部変更した。

(図1)

(2) 「学校薬品の注文書シート」を作成し、検討及び入力方法を習得した。(図2)

(3) 「学校薬品の注文書シート」にともない、エクセルにおけるマクロの作成手順の指導を受け、マクロの機能について研修した。

(図1)

The screenshot shows a software window titled "UserForm20" with the subtitle "入力ブック列項目設定". It contains a grid of input fields for data entry. The fields are organized as follows:

年号	H30	年度番号10	A	学年	B	組	C	出席番号	D
氏名	E	性別	F	生年月日	G				
1学期 健診日付	H	身長	I	SDスコア	K	体重	L	肥満度	M
2学期 健診日付	O	身長	P	SDスコア	R	体重	S	肥満度	T
3学期 健診日付	Z	身長	AA	SDスコア	AC	体重	AD	肥満度	AE

Buttons for "更新" (Update) and "キャンセル" (Cancel) are at the bottom. A note at the bottom right says "※70%まで拡大可能です" (Up to 70% zoom is possible).

(図2)

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a table titled "医薬材料品名" (Medicine Name). The table has the following columns: "内容量" (Content), "単価" (Unit Price), "注文数" (Order Quantity), "金額" (Amount), and "備考" (Remarks). The data is as follows:

内容量	単価	注文数	金額	備考
14 バイリンゴ錠	65錠	10	1,025	
15 バイリンゴローキッド(6才以上)	6錠	10	675	
16 新コルゲンが薬	6錠	5	3,860	
17 小児用バファリンG II	6錠	1	800	
18 小児アス	6錠	1	2,200	
19 小児バファリンG II	6錠	2	800	

Below the table, there is a summary row: "医薬材料費合計(円) 24,870". At the bottom, there are fields for "機収年月日" (Machine Receipt Date) and "機記番" (Machine Record Number).

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 入力ブックの列項目を増やしたことで、肥満・低身長シートについての列項目の移動が可能になり、肥満傾向や低身長の児童生徒を容易に発見でき、該当児童生徒の健康相談の資料作成の時間が短縮されるようになった。
- ② 学校薬品の注文書シートを作成したことにより、薬品の管理がしやすくなり、エクセルにおけるマクロの作成についても研修することができた。

(2) 課題

- ① 自校で「ほけん室のシステム」を使いこなせるスキルを身に付け、児童生徒の健康管理に活かしたい。また、他校でも活用できるよう、マニュアルを作成していく必要がある。
- ② 総合教育センター情報化推進員の協力により、マクロの作成について研修することができた。来室する児童生徒との時間の確保のため、今後もコンピュータを活用し、保健室事務処理を効率よく進めるために研修を積んでいきたい。